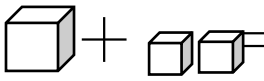
式に単位をつけることの利点(１)

◎ 問題文の理解が式に反映しているかどうかが分かる。

・足し算や引き算では，同じ単位(基準)でないと，足したり引いたりできません。

５円＋８こ＝？？？　５＋８はできるが，円＋こはで

きません。  ＋＝？　１＋２はできるが，算数としては，どうでしょう。

・ 掛け算や割り算では、１あたりの数(量)の考えが大切

になります。『１こ３０円のけしゴムを５こ買うと，ねだんは何円ですか。』という問題では、

３０×５＝１５０　が正しい式

５×３０＝１５０　は誤った式

(１こあたりの代金 × 個数 ＝ 代金)

答えは同じですが，５×３０は、問題文を反映していないからです。式に単位をつけると、

３０円／こ×５こ＝１５０円と，問題文をしっかり反映したものとなります。